

【締切間近】第7回ジャパン・サステナブルシーフード・アワード 応募締切は7月10日

「日本部門」・「アジア部門」の2部門で募集中

持続可能な水産業の推進やサステナブルシーフードの普及に貢献する取り組みを表彰するジャパン・サステナブルシーフード・アワード（JSSA）は、7月10日（金）の第7回公募締切まで残りわずかとなりましたのでお知らせいたします。

本アワードは、2019年の創設以来、日本国内の取り組みを対象に実施してきましたが、第7回となる2026年は「国内部門」と「アジア部門」の2部門で募集を行っています。チャンピオンの発表および授賞式は、10月21日（水）に行われる、サステナブルシーフード・サミット 2026（TSSS2026）で行います。（参加無料・事前登録受付中）



JSSA 2026特設ページ：<https://sustainableseafoodnow.com/2026/award/>

本アワードは、これまでに企業、団体、個人による多様な取り組みが受賞し、日本国内におけるサステナブルシーフードの実践を後押ししてきました。昨年は全国から7団体がファイナリストとして選出され、2団体が各部門のチャンピオンに、1団体に特別賞が授与されました。今年も持続可能な水産業の実現に向けて活動する企業、団体、個人の皆様からのご応募・ご推薦をお待ちしています。

[（過去の受賞者はこちら）](#)

第7回となる2026年は、国内の取り組みに加えてアジア部門を新設することで、日本を含むアジアの皆で共に持続可能な水産業の未来を創り出す新たな段階へと進みます。成長を続けるアジアの取り組みに光をあてることで、持続可能な水産物の生産と消費を支える未来市場の形成を後押ししていきます。

募集要項

【募集期間】 2026年4月17日（金）～7月10日（金）

【応募資格】

「国内部門」については、以下に該当するプロジェクトの実施者（団体・個人）、「アジア部門」については、そのプロジェクトの推薦者（団体・個人）が応募可能です。

【部門】

（1）国内部門

日本を拠点とする団体・個人による、日本を含むアジアで実施中または実施済みのプロジェクトを対象とします。

単独での取り組みか、他の団体や個人との協働による取り組みかを問わず、総合的に評価します。

応募は自薦とし、応募者本人が日本語で提出してください。 審査は公開されている評価指針に基づいて行われます。

（2）アジア部門

アジア（日本以外）を拠点とする団体・個人による、日本を含むアジアで実施中または実施済みのプロジェクトを対象とします。

単独での取り組みか、他の団体や個人との協働による取り組みかを問わず、総合的に評価します。

応募は推薦制とし、推薦者が英語で提出してください。 審査は公開されている評価指針に基づいて行われます。（被推薦者本人による直接応募は受け付けません。）

※募集開始時点で活動を開始していないものは対象外とします。

※過去に応募歴のあるプロジェクトも、進捗や新たな成果がある場合は再応募が可能です。

【応募方法】

専用応募フォーム：<https://form.jotform.com/260751316540451>

応募フォームに必要な事項をご記入のうえ、ご応募ください。

応募フォームにはプロジェクトに関する資料や写真を添付することができます。

※ファイナリストに選出された場合、活動内容は公式ウェブサイトやSNS等で紹介されます。



第6回ジャパン・サステナブルシーフード・アワード授賞式の様子
(2025大阪・関西万博「BLUE OCEAN DOME (ZERI JAPAN)」にて開催)

【授賞式】 2026年10月21日 (水)
サステナブルシーフード・サミット 2026 (TSSS2026) 内で開催予定

サステナブルシーフード・サミット2026 (TSSS2026) 概要

開催場所：東京ポートシティ竹芝 ポートホール

開催期間：2026年10月21日 (水) - 23日 (金)

公式サイト：<https://sustainableseafoodnow.com/2026/>

※一般の参加受付を開始しました (参加無料・事前登録制)

「第7回ジャパン・サステナブルシーフード・アワード」概要

【選考スケジュール】

応募期間：2026年4月17日 (金) ~ 7月10日 (金)

選考期間：2026年7月21日 (火) ~ 9月下旬

ファイナリスト発表：2026年9月29日 (火)

チャンピオン発表・授賞式：2026年10月21日 (水)

【公式サイト】

<https://sustainableseafoodnow.com/2026/award/>

【審査方法】

応募フォームの情報をもとに、審査員による書類選考を実施し、ファイナリストおよびチャンピオンを選出します。

([第7回ジャパン・サステナブルシーフード・アワード 評価指針はこちら](#))

【受賞特典】

・ファイナリストに選出された方々は、10月21日に東京・竹芝にて開催されるサステナブルシーフード・サミット 2026 (TSSS2026) での授賞式へ招待され、トロフィー・賞状などが授与されます。

・チャンピオンは、「[Seafood Legacy Times](#)」などのWEBメディアにて紹介されます。

・チャンピオンには、公式チャンピオンロゴの使用が許可されます。

【審査員】 (敬称略・五十音順)

牧野 光琢 (東京大学大気海洋研究所 教授 / 笹川平和財団海洋政策研究所 所長)

松本 哲 (日本生活協同組合連合会 ブランド戦略本部 サステナビリティ戦略室)

吉高 まり (一般社団法人バーチュデザイン 代表理事)

【主催】

主催：ジャパン・サステナブルシーフード・アワード実行委員会

(ASCジャパン、一般社団法人MSCジャパン、一般社団法人セイラーズフォーザシー日本支局、公益財団法人世界自然保護基金ジャパン (WWFジャパン)、株式会社シーフードレガシー)

【ジャパン・サステナブルシーフード・アワード実行委員会】

■ASC（水産養殖管理協議会）ジャパン

ASC（Aquaculture Stewardship Council：水産養殖管理協議会）は、環境や地域社会、労働者に配慮した責任ある養殖業を推進する国際的な非営利団体であり、養殖水産物に関する認証制度を運営しています。新しいASC養殖場基準は、FARM（法令遵守と倫理的な運営）、PLANET（環境への影響の低減）、PEOPLE（労働環境や地域社会への配慮）、FISH（魚の健康と福祉〈アニマルウェルフェア〉）の4つを柱としています。2026年4月現在、世界126カ国で31,000品目以上のASCラベル付き水産物が販売されています。また、ASCラベルは2026年に新たに刷新されました。さらに、世界では2,353の養殖場と98の飼料工場がASC認証を取得しており、日本国内では45の養殖場と3の飼料工場が認証を取得しています。ASC認証水産物の加工・流通過程に必要なASC CoC（Chain of Custody）認証については、世界で3,119件、日本国内で216件が取得されています。詳細はWeb サイトをご覧ください：<https://jp.asc-aqua.org/>

■一般社団法人 MSC（海洋管理協議会）ジャパン

将来の世代まで水産資源を残していくために、認証制度と水産エコラベルを通じて、持続可能で適切に管理された漁業の普及に努める国際的な非営利団体です。本部をロンドンとし1997年に設立され、現在は25カ国に事務所を置き世界中で活動しています。MSCジャパンは2007年に設立。MSC「海のエコラベル」の付いた製品は、2024年度には世界70カ国以上で約22,000品目、日本では660品目が販売されました。国内ではイオングループ、生協・コープ、イトーヨーカドー・ヨーク、西友、マクドナルド、ロイヤルホストなどで購入・注文できます。詳細はWeb サイトをご覧ください：<https://www.msc.org/jp>

■一般社団法人セイラズフォーザシー日本支局

米国ロックフェラー家当主であるディビッド・ロックフェラーJr.が設立した海洋環境保護NGOの日本支局として2011年に発足、その後日本の一般社団法人として独立運営の形をとり、世界最大の海洋環境NGOのOCEANAとアフィリエイトとして協力しています。モナコのアルベール2世大公財団や、東京都、京都府、広島県、三重県とも提携し、市民意識啓発と政策提言を通して、海洋環境改善で持続可能な社会をめざします。「ブルーシーフードガイド」の発行を中心に水産資源の持続可能な消費の啓発、クリーンレガッタプログラムによる海洋スポーツの環境保全基準値設定とプラスチックゴミの削減、KELPプログラムによる海洋教育の3つのプログラムを運営しています。詳細はWebサイトをご覧ください：<https://sailorsforthesea.jp/>

■公益財団法人世界自然保護基金ジャパン（WWFジャパン）

WWFは100カ国以上で活動している環境保全団体で、1961年に設立されました。人と自然が調和して生きられる未来を目指して、失われつつある生物多様性の豊かさの回復や、地球温暖化防止などの活動を行っています。詳細はWebサイトをご覧ください：<https://www.wwf.or.jp/>

■株式会社シーフードレガシー

シーフードレガシーは、社会・経済・環境におけるサステナビリティを念頭に、海と人をつなぐ象徴としての水産物（シーフード）を豊かな状態で未来世代に継ぐ（レガシー）ことを目指す、ソーシャル・ベンチャー。世界を網羅する幅広いネットワークや専門知識を活かし、国内外の漁業者、水産企業、NGO、政府等と協働して、日本の水産業に適した解決策を描きます。詳細はWebサイトをご覧ください：

<https://www.seafoodlegacy.com>

【一般お問い合わせ先】

ジャパン・サステナブルシーフード・アワード事務局

E-mail：jssa-support@seafoodlegacy.com

報道に関するお問い合わせ先

株式会社シーフードレガシー 広報部

担当：庄司、有川、冨塚

media@seafoodlegacy.com